

長安ロダム

那賀川は、その源を剣山、石立山などに発し、四国山脈の東麓に沿って徳島県南部の那賀町、阿南市を貫流して紀伊水道に注ぐ幹川流路延長125km、流域面積874km²に及ぶ、徳島県第2位、四国でも有数の大河川です。

長安ロダム是那賀川上流に位置し、徳島県的那賀川総合開発事業の中核となるもので洪水調節、発電、既得取水の安定化及び河川環境の保全を目的として、昭和25年から建設が始まり、昭和30年度に完成しました。

また、低い水位での放流能力を高め、洪水調節容量を増加させるための「放流ゲートの増設」、洪水後の濁水長期化の軽減を目的として、より澄んだ水を下流へ放流するための「選択取水設備の設置」などの長安ロダムの改造が行われ、令和4年に完成(完成式典)しました。

長安ロダムの高さは85.5m、総貯水容量5,427.8万 m³となっています。また、長安ロダムから延長約5km の圧力トンネルにより最大使用水量60.0m³/s、常時使用水量18.78 m³/s を取水し、下流の県営日野谷発電所で最大出力62,000kW、常時出力14,400kW の発電を行っています。



目 的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、発電
ダム形式	重力式コンクリートダム
集水面積	538.9km ²
湛水面積	2.238km ²
ダ ム 高	85.5m
総貯水容量	5,427.8万 m ³
管 理 者	国土交通省